

島松だより

Vol.42

題字・絵／田川正悦



日本キリスト教団
島松伝道所

〒061-1351

北海道恵庭市島松東町4丁目1-8

牧師／辻中徹也・辻中明子

電話・FAX／0123-36-7275

<http://www.simamatsu.org>

それどころか、体の中でほかよりも弱く
見える部分が、かえって必要なのです。

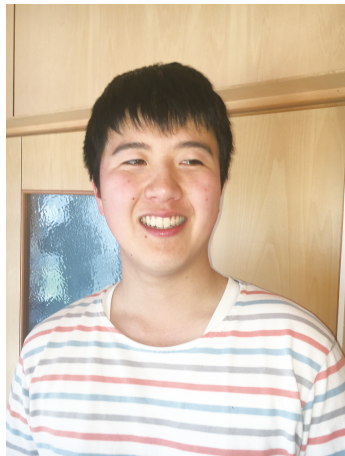
コリントの信徒への手紙一 12.22

信仰告白

2018.12.23

クリスマス礼拝にて

そんな時にはこの教会に来て 大西地塩



とコミュニケーションを取るのが苦手です。そのため、小学校から高校まで一緒だった教会の友達が楽しく会話している中に自分はなかなか入れず、毎週日曜日に教会へ行くことに気が進みませんでした。

小学2年生の時には目が見えにくくなり、ますます他の友達と違うようになつた自分が恥ずかしくなつて教会へも行きづらくなりました。どうして自分だけ他の友達の楽しい会話の輪に入れないのだろうと思ひ、中学校以降は徐々に教会へ行く回数が少なくなりました。

そんな私が教会を好きになつた

最初のきっかけは、大学生になって自分より年上の大人の方々と親交を深めるようになったことです。みんなが私のことを理解し良いところを認めてくれて、教会で人と会って話すことが好きになりました。島音祭では私の特技(鉄道の音声模写)を披露することで、みんなが私の良さを認めてくれたおかげで、私が輝ける大切な「武器」を見つけたことができました。このことを通じて、「みんな違ってみんないい」の言葉の意味が初めてよくわかり、教会が好きになりました。また、大学の英語英米文学科で英語や異文化について学び、欧米の文化やキリスト教に憧れたことも私が受洗を決めたきっかけの一つです。

私はこれから生きていく社会の中で様々な人と関わり、人一倍対人関係に苦しみ、自分に負けそうになることが多くあるかもしれません。そんな時にはこの教会に来て、神様の言葉を聞いて自分自身を励ましたいと思います。

また、私は『地塩』という自分の名前が大好きです。かつては、「手のひらを太陽に」の歌詞の中の「真っ赤に流れる僕の血潮」という歌詞で小学校の友達から笑われ、自分の名前があまり好きではありませんでした。しかし、塩とは、腐敗を防いだり物に味をつけたりできる優れたものであるという素晴らしい意味を

知り、こうした役割を持つ地の塩のように、周りの一人一人を大切に思ひやり、自らも輝く人間になりたいと思うようになりました。名前をつけてくれた両親には日々感謝しています。

どんなに辛いことがあっても私には私の居場所がある、それが教会です。神様がいる、支えてくれるみんながいる、そんな思いから私は本日信仰告白をいたします。



イースター祝会前。地塩君『音鉄』山手線ネタ初披露！ 2019/04/21